

ライフヒストリーからみるアマの一日、一年、一生
～南房総市白浜町白浜の調査から～

門口 実代

1. はじめに

本発表の目的：千葉県南房総市白浜町白浜における海女・海士漁の概観を示すとともに、海女漁に長年従事してきた女性と、遠洋漁業を辞めた後に海士漁をはじめた男性の二人を例に、個人の経験から当地域の海女・海士漁を考える

調査の経緯：筑波大学人文学類・比較文化学類開講の民俗学実習 2009年10月25日～30日

- ・ 小戸の初午調査 2010年2月28日～3月3日
- ・ 下沢熊野神社の祭礼調査 2010年7月24日～25日

※ 本発表のデータは発表者の調査に加えて、上記民俗学実習の参加者間での情報共有によって得られたものも含まれている

2. 調査地（白浜町白浜）の概況

- 千葉県南房総市白浜町白浜の島崎・青木・下沢・小戸地区

| | 島崎 | 青木 | 下沢 | 小戸 |
|-------|-----|-----|-----|-----|
| 戸数（戸） | 249 | 175 | 159 | 156 |
| 人口（人） | 625 | 419 | 366 | 335 |

※ 平成20年4月1日の住民登録数

平成18年に市町村合併により、南房総市に編入。合併前の南房総市白浜町は安房郡白浜町。白浜町は14地区から構成される。うち、白浜町白浜は9地区。

- 房総半島の最南端。年間平均気温が16℃の温暖な気候。【参考：調査地概況】
- 東西に延びる全長10kmの海岸線。2カ所の漁港。
かつてはサンマの大網漁・ツキンボ漁が行われていたが、時代が下ると刺網漁が主流に
海女小屋があり、海女・海士による潜水漁（アワビ・サザエなど）が行われている
- 「半農半漁」で、漁業とともに花卉栽培、畑作、稲作などの複合的な生業形態
- 昭和初期より、男性は遠洋漁業や出稼ぎに従事することが増加。女性たちが白浜で働く。

3. 複合的な生業のあり方

- 畑作：ほとんどを自家用として消費

冬…ソラマメ・ダイコン・ホウレンソウ・レタス
 春…ジャガイモ（3月）、サツマイモ（5月）
 夏…スイカ・トウモロコシ・メロン・トマト・エダマメ
 秋…落花生

○ 花卉栽培

大正頃より商業用の花卉栽培がはじめられるが、生産規模は小さかった

⇒ 規模が拡大するのは昭和 40 年代以降。ハウス栽培も導入される。

現在、キンセンカ・キンギョソウの生産量は日本一

- キンセンカ… 8 月 15 日から 9 月 1 日にかけて植え付け。早いものは 90 日ほどで出荷。
彼岸と暮れに多く出荷できるように調整
ナバナ… 10 月下旬に種まき、11 月半ばから 4 月半ばまで出荷
その他… ストック・コギク・マーガレット・ポピーなど

○ 山からの採集

マツタケ・シメジ・ナガイモ・タケノコ・タラの芽などを採集

○ 沿岸漁業から遠洋漁業へ

① 昭和初期以前…沿岸漁業 【大漁祝いの万祝】

アジやイカ（小型船）、カジキマグロ（ツキンボ漁）、サンマ（大網漁）、サバ

cf. 近くにはクジラの漁港

② 昭和 20 年代以降…遠洋漁業（マグロ船）の従事者が増加

③ 平成以降…刺網漁が盛んに イセエビなど

15～16 時に網をかけ、翌朝 4～5 時に網をあげる。従事者は年々減少。

4. 海女（あま）と海士（かいし）

※ 海女…女性のアマ

海士…男性のアマ。海女と区別する際には、「かいし」と発音される。

アマ…海女・海士を総称する語として本発表では用いる

○ 最盛期には白浜全体で約 300 名の海女がいた。現在は減少 ex. 小戸：海女 2 名、海士 6 名

○ 海士はこの 10～20 年の間に増加。それ以前はまったくいなかった。定年後には始める人が中心で、一人でモーターボートに乗って漁に出る場合が多い。

(1) アマの種類

- ① イッパアマ（フントンアマ）…船頭を雇い、一人で操業。分銅を使用。
② フナアマ…1 隻に船頭 1 名と、アマが 4～6 名乗る。この漁の形態をノリアイという。
③ オカアマ（テングサアマ）…タルを使用し、オカから泳いでテングサなどを採集

+

オカバイ…アマではないが、足がつくところでテングサなどの海藻類を採集

※ 評価 ++ オオアマ：腕が良いアマ（＝「アマが良い」）①・②

良い漁場であるドツツオ（トツツオ）を数多く知っている

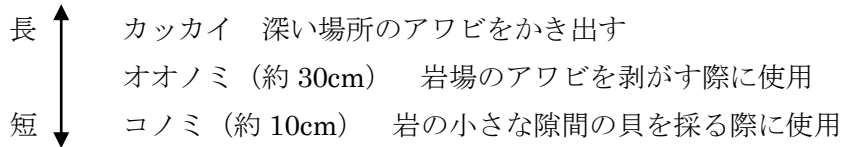
-- ペーペーアマ：腕が悪いアマ・アマになって日が浅いアマ（＝「アマが悪い」）

③・オカバイ

(2) アマの道具

潜水メガネ…二つメガネ→一つメガネ、ブリキ製→ゴム製 曇止めとしてヨモギを使用

イソガネ (イソッカネ)…鉄製。長さに応じて使い分け。



スカリ (タマリ)…漁獲物を入れるための網袋

マゲダル…浮きとして使用。マゲダルに網などを紐でくくりつける。

イノチヅナ…腰にわらを巻き、イソガネをはさむ

アマギ…大正時代の頃は腰巻→昭和以降、シャツ・イソギ・イソジュバン+モグリハチマキ
 → 最近黒のウェットスーツとオレンジ色のトレーナーの着用を義務づけ
 地区ごとにウェットスーツの規格。Ex.下沢は膝上 5 cm

(3) 漁業暦

| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------------|-----|-----|------------|-------------|------------|-------------|--------|---------|---------|-----|-----|
| 上中下 | 上中下 | 上中下 | 上中下 | 上中下 | 上中下 | 上中下 | 上中下 | 上中下 | 上中下 | 上中下 | 上中下 |
| 刺網漁 | | | | | ×××××××××× | | 刺網漁 | | | | |
| 1月1日～5月30日 | | | | 禁漁(トビウオ漁は可) | | 8月1日～12月31日 | | | | | |
| ◎1/3 みかん投げ | | | | ◎4/末 大漁祈願祭 | | | | | | | |
| ワカメ・ヒジキ | | | アマ漁 | | | | | | ハバノリ | | |
| | | | 5月1日～9月15日 | | | | | | | | |
| | | | ×××××××××× | | | | | | | | |
| | | | サザエ禁漁 | | | | | | | | |
| ◎3/末 アワビの大漁祈願祭 | | | | ○オレゴモリ | | ○ナカゴモリ | | ○シマイゴモリ | | | |
| | | | | | | | 7/中の土日 | | 白浜海女まつり | | |

(補足)

- ・ アワビの解禁日は海女連絡協議会が決める。例年9月15日までだが、近年は5日程短縮。
- ・ 白浜海女まつり…昭和39年の「白浜盆踊り」を前身とし、昭和41年に開始。観光協会が主体。海女の大夜泳。
 ←昭和31年に白浜音頭が製作発表されたことを受けている

(4) アマ漁に関わる規定

- ・ 漁するには漁業権 (採補証) が必要：1年間1万円 (アワビ・サザエを獲る場合)
- ・ 操業日は、アマが水温 (水温 15℃未満は操業不可)、波の高さ、風の具合などをみて決定
 ex. 青木・小戸・下沢では、毎朝各地区から1名ずつアマが海へ行って決定
 海に入ること=「漁あける」/海に入らないこと=「漁とめる」：赤い旗を立てる
 → 平均すると操業日は1月に約10日。漁期通して平均40日。
- ・ 潜水時間は、9時から15時

- ・ 休漁日：日曜日・海の日・8月14～16日

(5) 資源管理

○ 漁域の規定

平成18年から地区ごとの漁域を規定。海域の境には、浮きで目印。

白浜町白浜…島崎・東横渚／小戸・下沢・青木／原・名倉／塩浦・乙浜

5年間試行し、平成23年に再議

○ 禁漁区の設置

各地区に禁漁区がある Ex. 青木・下沢・小戸は4ヶ所の禁漁区、3年に1度解禁

近年、その4ヶ所の禁漁区にアワビの稚貝を放流。春先と秋の年2回、各地区に5000匹が割り当てられ、アマの手で岩陰に放流。3年後には数多くが付着するが、天然との差異は一目瞭然。ただし値段は同一。

○ 採取可能な大きさの規定

漁協の規定により、アワビ12cm以上、サザエ7cm以上、イセエビ13cm以上が採取可能
漁協が定めた尺棒を使用してアワビの大きさを測る

5. 海女のAさん夫婦のライフヒストリー

※ 詳細については別紙参照

6. 海士をはじめたCさんのライフヒストリー

※ 詳細については別紙参照

7. おわりに

○ 今後の課題

- ・ 白浜町での継続調査…アマ漁について・Aさん、Cさんを含めたアマ経験者からの聞き取り調査の継続（とくに地域の生業形態と婚姻のあり方の関係性について）
- ・ 志摩市・鳥羽市における海女調査
- ・ アマ漁の道具についての調査・記録作成